



# 篠小だより

～学ぶ つながる 篠原の子～

令和6年2月29日

3月号

〒222-0022 横浜市港北区篠原東三丁目27番1号 Tel.045-401-9532 fax045-431-9538

## 変化・変革を怖がらなくてよかった

校長 松久保 伸子



3月19日火曜日には、1年間学校代表を担ってきてくれた6年生が、本校を巣立ちます。思い返せば2年生の終わりの3月に突然の臨時休校が決まり、3年生の始めも休校そして分散登校、4年生の夏にも臨時休校を経験している学年です。小学校生活の多くをコロナ対応に準じなければいけない学年でした。30年以上教員として働いてきましたが、こんなに変化の大きかった数年間は他にはありません。友達と肩を組めない、物を共有できない苦しい時期を何とか乗り越えてくれた6年生に感謝の気持ちでいっぱいです。そして6年生の5月には、とうとうコロナ感染症が5類へ移行。それまで異学年交流は、感染症拡大防止の観点から、控えられていたのですが、この時を待っていましたとばかりに、それはそれは1年生のことを大事にしてくれました。また同時に学校も日課表を大きく変更し、午前5時間40分授業のスタイルに変わりました。この大きな変革に一番早く順応してくれたのも、やはり6年生です。秋に6年生の社会科の授業を3クラス1時間ずつ行った時のことです。5分短い新しい時間配分に担任のように慣れてはいない私に配慮してか、タブレットにササっと自分の考えを書き表し、仲間の考えを画面から読み取り、それぞれの考えに価値を見出して意見を述べて、大いに学習進行を助けてくれました。

この午前5時間40分授業は、横浜市内のモデル校があったといえ、令和5年度は本校を含めてまだ多くは実践していないシステムです。令和6年度はもっと増える見込みだそうです。子どもたちの感想もおおむね良好です。集中しやすい午前中に勉強がはかどるのは、子どもたちにとって教員にとってもメリットが大きいです。また午後のスキルタイムには、本校が進んで取り入れてきたデジタルドリルを大いに活用しています。3年生以上はタイピングの練習にも取り組みます。児童が14時45分に完全下校すると、教員の教材研究の時間を15分程度確保できるようになりました。現在は3時から45分の休憩時間も活用して授業準備をしていることが多いのですが、働き方改革をさらに進めて、もっと授業準備の時間を確保し（休憩時間はしっかり休憩して体を整え）、子どもたちに還元していきたいと思います。

卒業する6年生は変化にしなやかに順応してくれました。私たち教職員は若い6年生のようにしなやかにとはいきませんが、思い切った変革で子どもたちにより良いものを提供できるようチャレンジしてきたつもりです。大きな変革はリスクも伴いますので、怖くもあります。しかし、結果チャレンジしてよかったと思えます。何より大切な子どもたちに良いと思われることを、今後も恐れずにチャレンジしていきたいと思います。日課表変更においては、下校時間が変わりご家庭や地域の皆様にはお手数をおかけいたしました。温かく応援してくださり、本当にありがとうございました。温かいご家庭や地域のご支援を受け、令和5年度を終えようとしています。どうぞ令和6年度もよろしくお願いいたします。